

学校法人 大阪医科薬科大学病院
栄養部栄養課 勤務 中谷 まりな

大阪医科薬科大学病院に勤務する私は、病院給食と病棟での栄養指導や患者さま向けの講義を担当しています。患者さまに食事や栄養の知識を提供するのが、いまの私の仕事です。医療栄養学部で学んだことが自分の強みになっていると実感できる日々です。思えば食品成分の実験やケーススタディを用いた栄養学実習、臨地実習など実践的な授業が数多くありました。たとえば真空冷凍の機械なども、大学時代に操作した経験があったおかげで現場でもすぐに扱うことができ、管理栄養士として働いて、大学での学びが役立っていると感じています。病院におけるさまざまなシステムや手段が大きく変化する過渡期だと実感する昨今ですが、そんな中でも最先端の環境で学べたことは今後さらに活かされると思います。と同時に、医師免許をお持ちの先生方によるハイレベルな授業も「医療栄養」の特徴ですが、その先生から授業外の時間でもわからないことを根気強く教えていただけたら、仲間と教え合ったりして、やりがいのある仕事に就けたと思います。管理栄養士として常に学び続けることや社会人として専門職として自分の仕事を全うすることの大切さを胸に、さらにスキルを上げていけるよう頑張りたいです。



東京医科大学病院
栄養管理科 勤務 末川 あみ

臨床現場で働く管理栄養士になりたいと考え、実践的な授業で臨床の知識も学べる医療栄養学科を志望した私はいま、東京医科大学の呼吸器内科・皮膚科・感染症科の混合内科の病棟管理栄養士として勤務しています。具体的には食事内容や経腸栄養や静脈栄養のプランニングを、医師・看護師・薬剤師・理学療法士と意見交換しながら行なう業務です。呼吸状態が悪く食欲不振の患者さんとは、毎日コミュニケーションをとります。食事内容を調整することで、食事がとれるようになり徐々に病態も改善されていきます。食事が患者さんに与える影響は心身ともに大きいので、常に患者さんの声に耳を傾けて調整するようにしています。本学部には臨床のご経験がある先生方も多く、模擬栄養指導や症例検討会で臨床検査値の評価方法など実際に臨床現場で活かせる知識を学びました。加えて、看護学科・理学療法学科・神戸薬科大生らとチーム医療を学ぶ授業で、多職種との関わり方や考え方を学べたことも、大いに役立っています。「僕が退院できるのは末川さんがいてくれたおかげだよ」と患者さんから言っていただけたとき、改めてやりがいを感じました。本学で培った経験と心強いサポートが、国家試験の勉強や就職活動のみならず、患者さんと向き合ういまの仕事そのものに活かしていると思います。



まずはお気軽にお申込みください

OPEN CAMPUS

甲南女子大学オープンキャンパス

事前申込制 全日程 10:00 - 15:00 イベント多数!

6/2 日	7/13 土	7/14 日
8/3 土	8/4 日	9/1 日
10/26 土	10/27 日	2025年 3/23 日

※10/26(土)・27(日)は大学祭と同時開催で入試相談会を行います。
※その他、12/15(日)は高校1・2年生対象のminiオープンキャンパスを開催します

お申込み時の注意事項

※各回、受付開始日を設けております。詳細については、オープンキャンパス特設サイトをご確認ください。
<https://www.konan-wu.ac.jp/admission/opencampus/>

オープンキャンパス特設サイトこちらから

甲南女子大学で会いましょう!

入試インフォメーション

甲南女子大学 入試・広報課

Tel. 078-431-0499 / 078-431-7600

【月～金 9:00～17:00 ※夏期・冬期休業期間はお電話を承ることができません】

Fax. 078-451-3680 E-mail: nyushi@konan-wu.ac.jp

〒658-0001 兵庫県神戸市東灘区森北町6-2-23



Clinical Nutrition

医療栄養学部で学ぶ
あしたの管理栄養士



医療栄養学部

医療栄養学科

2025年度

栄養を考えると、「食」は医療になる



医療栄養の学びから未来を切り拓く「あしたの管理栄養士」

養成する人材

- 職業倫理を基盤として、栄養管理に自律的に取り組み、「全人栄養」*）を実践できる専門職業人として、多様なニーズに対応でき、課題を見つけ出して解決できる管理栄養士
- 地域・医療・福祉等の分野において、健康の維持・増進、疾病の予防・療養、介護の予防・介護に必要な栄養学及び関連分野の知識と技能を活用できる管理栄養士

*）全人栄養：教養と栄養学の知識と技能で、人々の健康の維持・増進、疾病の予防・療養、介護の予防・介護を「食」をめぐる生活環境も考えて対応できる栄養

学びの特徴

高度な専門知識や技能を兼ね備えて医療に強い管理栄養士を養成するために、
医療栄養学科独自の特化したカリキュラムを設定

- 豊かな人間性とコミュニケーション能力を備えた人材を育成する科目（全学共通科目）とともに、管理栄養士及び医療分野における専門基礎科目（調理学 / 食品学 / 解剖学 / 生理学 / 生化学 / 病理学 / 薬理学など）を設定
- 本学の医療栄養学科・看護学科・理学療法学科の3学科で多職種連携教育（IPE）のための科目（医療リスクマネジメント / 医療倫理 / 多職種コミュニケーション論）を設定し、4年次にはさらに神戸薬科大学を加えた演習科目（チームケア論）を設定
- チーム医療など医療分野において専門職業人として活躍できる管理栄養士を養成するために、臨床現場での経験を有する管理栄養士による実践的な科目（病棟栄養管理学 / 医療・地域・福祉管理論 / 病棟栄養管理学実習）を設定



充実した設備の10号館



1

1年次

基礎を学び、幅広い教養や専門基礎知識を身につける

2年次

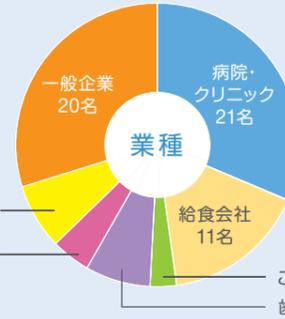
応用を学び、さまざまな実験・実習に取り組む



2



卒業後の進路



主な就職先

淀川キリスト教病院 / 京都市立病院機構 / 長浜赤十字病院 / 市立野洲病院 / むらまつ歯科クリニック / エームサービス株式会社 / グリーンハウスグループ / 株式会社LEOC / 株式会社ユーハイム / 生活協同組合コープこうべ 等

3年次

校外・臨地実習を通して専門分野の知識と技能を習得する



3

学科長からのメッセージ

2018年4月に「あしたの管理栄養士」を掲げスタートした医療栄養学部は、2024年3月に管理栄養士国家試験を終えた3期生が卒業し、医療機関・給食会社や食品企業等で活躍し始めました。4月には新たに7期生80名余りを迎え、本学の「まことの人間をつくる」という建学の精神のもと、「生き抜く力を持つ自律した女性の育成」を目指して、医療に強い専門職としての管理栄養士養成に力を注いでおります。卒業生と在学学生、在学学生の学年を超えた交流等にも力を入れ、互いに学ぶ環境を整えています。また今年度からは、全学をあげてリーダーシップ教育を推進しています。施設・設備も充実した甲南の丘にある本学で一緒に学びませんか。



学科長 東根 裕子
（専門分野：調理学）

4

4年次

多職種連携教育で社会に貢献できる実践力を養う

多職種連携を学べる環境があります

医療機関だけでなく人々の暮らす場において、患者さんとその家族のよりよい生活を、ともに考え支援するチームケアを目指す。

代表的科目「チームケア論」

管理栄養士、看護師、理学療法士、薬剤師をめざす学生グループで、多職種で目標を共有し問題解決に取り組むことの意義を学びます。それぞれの専門性を生かしながら、協働して患者さんとその家族の自立を目指した具体的な支援を検討する演習授業です。

在学生たちの声

病院で活躍する管理栄養士をめざして

医療栄養学科 3年 岸部 咲希

もともと医療に興味があり、父の病気をきっかけに病院で働く管理栄養士の存在を知りました。毎日私たちは皆、何らかの形で栄養素を摂取しています。生きていく上で「食」は欠かせません。その「食」に携わる仕事に就きたいと思い、栄養学を学ぼうと思いました。大学では座学だけでなく実験や実習でのグループワークも多く、栄養学の知識や技術に加えて自己啓発にも励むこともできます。毎日の勉強は大変ですが、理解できると喜びを感じ自信へと繋がります。医療に特化している医療栄養学部でさらに学びを深め、将来は病院で活躍する管理栄養士になりたいです。



一人一人の心に寄り添える管理栄養士を目指して

医療栄養学科 4年 岸本 有莉

「食事」は欠かせないものだからこそ、心身の状態によっては大きな負担になり得ると自身の経験や医療栄養学科での学びを通して実感しています。卒業研究では、経腸栄養剤を美味しく飲み続けるための新たな味の考案を行っています。経腸栄養剤は特定の疾患の治療に有効ですが、独特の味やにおいがあるため嗜好飲料等と混合し、飲みづらさを解消したいです。行き詰まることもありましたが試行錯誤の末、新たな味に出会った時の喜びは大きく、友人と意見し合いながら楽しく取り組んでいます。将来は一人一人に寄り添い、食に対する不安や困りごとを軽減できる管理栄養士になりたいです。

